

Welcome Back


Official Selection
WARSAW FILM FESTIVAL

2025
1.10
FRI
ROAD SHOW

KAITO YOSHIMURA

YUSU MIKAWA

YUYA ENDO

YOSHINORI MIYATA

MEFO YUKI

SHINICHIRO MATSUURA

RYOSKIN TEI

SHUN SUGATA

WV



新人王最有力候補のボクサー・冴木輝彦(通称:テル)と生まれつき記憶力に長けているがコミュニケーションが苦手な友原勉(通称:ベン)。二人は同じ団地で兄弟のように育った。ベンはテルを真似てシャドーボクシングをしていられるだけで幸せだった。ベンにとってテルは憧れで、絶対だった。だが、そんなテルが新人王決定戦で北澤に負けてしまう。しかし、敗北後も、テルは何事もなかったかのように、あつけらんと振る舞う。ベンにも変わらず優しく接するが、テルの生活は少しずつ荒み、遊び呆ける日々。まるでボクシングなど初めから興味がなかったようにすら見えるその姿が、ベンを不安にさせた。憧れだったテルを、たった一度の敗北により失ってしまったのだ。そんな喪失に耐えられないベンはある日、テルのグローブを持ち出して、「テルは負けない」「テルは負けない」と何度も呟きながら宿敵・北澤に復讐を誓い、歩き始める。

自分しか表現できない男と、誰かにしかかなれない男。ボクシングを通して見えたのは、本物の強さだった。

本当の強さとは何か。 負けの先はなんなのかを問いかける “ボクシングロードムービー”

新進気鋭の映画監督・川島直人が「高崎グラフィティ。」以来、7年ぶりに手がけた2本目となるオリジナル長編映画。ワルシャワ映画祭に正式出品され、海外からも注目を集めている。性格に難ありな新人王最有力と目されるボクサーのテルを演じるのは、話題沸騰中のNetflixドラマ「地面師たち」に出演し、新旧さまざまな映画人に愛されてきた吉村界人。兄貴分のテルに憧れるあまり、自立できない青年ベンを演じるのは、黒沢清監督最新作「Cloud クラウド」などに出演し、各界からその演技力と存在感を注目されている若手イチのバイプレイヤー・三河悠冴。脇を固めるキャストに、遠藤雄弥、宮田佳典、優希美青、松浦慎一郎、テイ龍進、菅田俊などの実力派俳優が顔を揃えた。新世代を代表する、新たなボクシング映画の誕生をぜひ目撃してほしい。



Directed by
Naoto Kawashima

[Screenplay]
Naoto Kawashima
Rei Tsuruga

[Director of Photography]
Ryuto Iwabuchi

[Assistant Directors]
Takanori Takashina
Hiroka Matsumoto

[Costume Designer]
Yuji Makino

[Makeup]
MAFUYU

[Photographer]
Ryoma Kawakami

[Graphic Designer]
Yuto Tamura

[Lighting Director]
Naotaka Tomoda

[Sound Engineer]
Kiyomi Samukawa

[Art Director]
Yura Hata

[Music]
Yousuke Nagao

[Producers]
Ryota Aochi Takuro Fujii
Kengo Watanabe Shohei Sadohara

[Executive Producer]
Shinya Kishiro

PARCO

GUNSRock

「Welcome Back」2024年 / 日本 / 119分 / シネマスコープ / カラー / 5.1ch / 製作・制作会社:GunsRock / 配給:パルコ ©2025 GunsRock



24250-A